

コロナワクチン接種率大幅低下 富津市で昨年 自己負担や意識低下影響か

6/2 東京新聞

高齢者らを対象にした新型コロナウイルスワクチンの定期接種が昨年に自己負担となり、千葉県富津市での接種率が11.8%と2023年に比べて5分の1に下がった。市は、接種率低下を全国的な傾向だとしつつ、基礎疾患のある人や高齢者が感染すれば重症化するリスクは引き続きあるとして、接種を呼びかけている。

市の発表した接種実績によると、全額公費負担の特例接種だった23年は春の接種が61.8%、秋が56.5%だった。自己負担になった昨年は、国が1回当たり8300円を補助するなど軽減措置もあったが、接種率低下が顕著だった。

23年までの特例接種、昨年からの定期接種はいずれも対象を65歳以上と、基礎疾患があり重症化リスクの高い60～64歳の人とする。厚生労働省の人口動態統計で最新の23年を見ると、コロナの死者数はまだ年間3万8086人に上り、65歳以上が97%を占めた。

市健康づくり課の担当者は「自己負担額増のほか、コロナの報道も減り『接種しなくてもいいか』との意識も強くなっていると思う。流行が終わったわけではない。かかりつけ医に相談し、体調に基づいて接種してほしい」と話している。

接種費用は昨年が1万5800円で、国と市独自の助成分を差し引いた市民の自己負担額は5千円だった。今年10月から予定している定期接種で国の助成はなく、市は独自助成を5千円に増やすものの、市民の負担は1万円超とほぼ倍増する。(山本哲正)



コロナワクチン接種率大幅低下 富津市で昨年 自己負担や意識低下影響か

新型コロナで学年閉鎖 修学旅行中に発熱

5/29 テレ朝ニュース

神奈川県・寒川町の旭が丘中学校で、新型コロナの感染が拡大しているとして、来月1日まで3年生の学年を閉鎖することになりました。

3年生は今月21日から修学旅行で京都を訪れていたところ、2日目に生徒が発熱し、新型コロナへの感染が判明しました。

修学旅行が終わった後、さらに9人の感染が分かり、他にも30人が発熱やせきなどの症状を訴えました。重症者はいないということです。

(「グッド!モーニング」2025年5月29日放送分より)



コロナで学年閉鎖 修学旅行中に発熱

けさ 知っておきたい! NEWS

©Googleストリートビュー



寒川町立 旭が丘中学校

新型コロナウイルスが感染拡大

→日曜日まで3年生の学年を閉鎖

※神奈川県寒川町教育委員会によると

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d39f1825438d7f157f09d5e5d81fc65f69c349a7>